

会 議 録

会 議 の 名 称	平成19年度 第5回 岩城地域協議会
開 催 日 時	平成20年3月26日(水) 午後1時30分
開 催 場 所	岩城総合支所 講堂
出 席 者 氏 名	「出席者名簿」のとおり
欠 席 者 氏 名	進藤 貢委員、高野啓二委員、竹内善治郎委員、佐々木カネヨ委員、今野清子委員、金森巳嗣委員、渡部秋美委員、中村慶一委員、佐々木由美子委員、今野正樹委員、三浦 稔委員、早川あけみ委員、奈良禎子委員
会議次第 1. 開 会 2. あいさつ ・ 会長 ・ 佐々木理事(市議会3月定例会の状況報告も兼ねて) 3. 報告事項 ・ 第3回岩城地域協議会意見書にかかる回答について ・ 平成20年度予算・事業計画概要等について 4. 協議事項 ・ 委員提案テーマ「岩城地域の観光振興について」 5. その他 6. 閉会	
会 議 の 経 過	別紙のとおり

◆出席者名簿

(31名)

会 長	前川 侔	委 員	須田まり子	建設課長	渡部 昭
副会長	今野次男			教育事務所長	斎藤忠廣
委 員	長谷部鋼次			生涯学習課長	堀井幸二
委 員	三船丸男			亀田城館長	岸野芳夫
委 員	堀井盛男			亀田出張所長	佐藤利一
委 員	進藤三男				
委 員	進藤敏和			事務局	大竹 晃
委 員	船木敬子			事務局	尾留川真由美
委 員	高野弘美			事務局	高山淳一
委 員	伊藤修二	理 事	佐々木永吉	事務局	村上大輔
委 員	佐々木稔子	総合支所長	渡部専一		
委 員	阿部一雄	主幹兼振興課長	渡部 進		
委 員	今野房夫	市民課長	佐々木了三		
委 員	川上淳子	福祉保健課長	小川 弘		
委 員	堀井ヤス子	産業課長	伊藤尚武		

会議の経過

平成19年度 第5回 岩城地域協議会

平成20年3月26日(水)

午後1時30分 開会

◇会長あいさつ

●佐々木理事あいさつ

●事務局

ここで、事務局よりご報告申し上げます。

本日の出席者は、16名となっており、地域協議会の開会要件を満たしていることをご報告申し上げます。

これより協議に入りますが、協議会の進行につきまして、規定により会長が議長を務めることといたしておりますので、会長に引き継ぎたいと思います。会長よろしくお願いいたします。

◇会長

規定により議長を務めますので、よろしくお願いいたします。

なお、本日の協議会につきましては、午後4時頃を閉会の目途としておりますので、会議の円滑な進行にご協力をお願いいたします。

それでは、「第3回岩城地域協議会意見書にかかる回答について」渡部主幹より報告を願います。

～渡部主幹兼振興課長説明～

◇会長

ただ今「地域協議会意見書にかかる回答について」報告がありましたけれども、この後の協議テーマとも関連がありますので、その際に併せて協議をしていただきたいと思います。

続きまして「平成20年度予算・事業計画概要等について」渡部主幹より報告をお願いします。

～渡部主幹兼振興課長説明～

◇会長

ただ今の報告について、皆さんからご意見を伺いたと思います。何かございませんか。

○A 委員

亀田保育園は本来 20 年度、つまりはこの春から指定管理者制度で行うということだったのが、1 年間様子を見て 21 年度からということでしたけれども、指定管理者の申込みはいつごろになる予定でしょうか。

●小川福祉保健課長

今検討しているのは、公募という形で、5 月上旬ごろに公募したいと考えています。

○B 委員

学童保育の有料化に伴って、保護者への説明が終わったように聞いておりますが、利用見込み等はどうのような状況でしょうか。

●小川福祉保健課長

学童保育については、登録をしてもらうことになりますが、大体去年と同じくらいで道川が 97 名、亀田が 47～48 名です。登録人数としては、だいたい去年と同じです。

◇会長

他にありませんか。なければ報告事項に対する質問を終わります。

続いて、皆さんからの提案をもとに決定いたしましたテーマ「岩城地域の観光振興について」の協議に移りたいと思います。進め方や何にポイントを絞るか等は様々な考えがあろうかと思いますが、ポイントを天鷲郷と道の駅周辺に絞って、本日はまず、現状の分析と問題点の洗い出しを行い、その次に望まれる対策の策定やその効果の検証を行って、最終的に意見書、提言書等にとりまとめて、市当局に提出したいと思います。今日どこまでまとめられるかわかりませんが、時間の許す範囲で出来るだけ進めたいと思いますのでよろしくお願いします。

それでは、事前に市当局から各施設の概況や入客数についての資料が配布されておりますが、これらを参考に各施設の現状分析と問題点の洗い出しを行いたいと思います。

先ず天鷲郷の方から始めたいと思います。天鷲郷には、主要施設として天鷲村、天鷲遊園、天鷲ワイン、亀田城美術館がありますが、現状の概況について、市当局より説明をいただきたいと思いますが、天鷲村、天鷲遊園、天鷲ワインについて産業課長をお願いします。

～ 伊藤産業課長説明 ～

◇会長

ただいまの説明を踏まえまして、まず天鷲村と天鷲遊園についての問題点の洗い出しを皆さんでお願いしたいと思います。

OC 委員

亀田は城下町ですが、私が嫁いで来て以来感じるのは、商売に対する意欲というものがあまり感じられないということです。ですから、観光客を誘致したとしてもきちんと対応（歓待）出来るのかという点で問題があるような気がします。儲けるということは大事なことで、観光で地域を活性化するためには利益をうまなければ豊かにならないし、経済的な潤いを求めるために観光に力を入れるのは良いとは思いますが、私が感じているのは、亀田という地域に関しては商売に積極的でないような、例えば、お客さんが来たからこういうことをして利益を上げよう、儲けようという気持ちが希薄なような感じがします。一つだけお願いですが、折角植栽した木とか植物に対して、植え放しじゃなくて、観光客が来たときに、花が咲いて綺麗だなという感じを持ってもらえるように、きちんと管理をしていただきたいと思います。

◇会長

他にありませんか。

OB 委員

ずっと以前の話になりますが、高城山の城址公園の手入れをよくしたものでした。老人クラブや城門の会という組織もありまして私も何度か下刈りに行ったことがあります。去年の春には公園に新たに桜を植えたようです。今年からでもその手入れ、城址公園の周辺の管理を、もちろん市でやれといっても無理なことはいっぱいあるわけなので、いわゆるボランティアでそういうような手入れ作業などをしたらどうかと思います。呼びかけをしてもらえればこぞって行くつもりでいます。

◇会長

他にありませんか。

OD 委員

天鷲村の入込客については増えているようですが、増えているというのはパッチワークキルト展のようなイベントがあって、それを目的に来ていただいた方が沢山いたということになると思います。天鷲村自体はそうそう変わるものではない。歴史館もそうですけれどもそれぞれの建物は20年も経過して、展示されている人形などもそのままですし、色も褪せてきているでしょう。ビデオ映像も20年来なんら変わらないです。村内の案内アナウンスも当初からのものがそのまま流れています。やはり、リピーターに来ていただくには変化がなければならないと思います。お金がかかることではあると思いますが。それと施設内の掃除が行き届いていないような感じがします。掃除はしているでしょうが、どうしてもくすんだ感じになっていますので、気をつけて磨いていかないと、お客さんはもう一回来ようとはなかなか思わないんじゃないかと思っています。

◇会長

他にありませんか。

OE 委員

先日、ひな街道ツアーに参加させていただきました。今回は亀田城八十八美術館が最高のお雛様で、当日ご覧になった方々の間では“すごいなあ”という感嘆の声が上がり、盛り上がりがありました。今年の入場者は増えているのでしょうか。

●岸野美術館長

今年2回目になりますが、由利本荘ひな街道ということで計画・実施しております。亀田城の入館者数に限って申し上げますと、昨年よりは人数的には増えております。2月9日から4月20日まで開催する予定ですが、昨日迄で889名の方がひな街道を目的にいらしております。

バスツアーを計画しまして、由利本荘市内の5館の施設を巡るツアーということで募集しましたところ、4日間の企画ですが、およそ400人弱の参加で、秋田市内や、中には東京からインターネットを見て来たという方もいらっしゃいました。秋田、酒田、由利本荘市外からの申込みも沢山ございまして、こういう企画は先ず第一にPRが必要じゃないかということをととても感じました。私どもは由利本荘市内はもちろんですが秋田市内の各施設に出来るだけポスター等を配りまして、マスコミにも色々お願いをして取り上げていただくなど積み重ねて参りまして、やはりテレビ等で放送すると翌日から多くの方がいらっしゃいます。いろいろな事業、ひな街道に限らずですが、テレビで取り上げて下さると県内から来ていただけるので、企画の大事さとPRの大事さを感じております。

OE 委員

よくわかりました、ありがとうございます。

やはり亀田は亀田藩の城下町ということで、昔からのお雛様が色々なものがあるということで昨年から感じておりましたが、皆さんが出し惜しみといいますか、出すのに手間がかかるということでなかなかだしてくれなかったのかな、という感じがしましたが、今年はものすごく積極的なのか、亀田からもまた更に多く出まして、道川地区からも大変珍しいものが出されておりました。矢島の方で70年ぶりというものも見ましたが本当に見事で、地域には大事な宝物がまだまだ沢山あるところを見れば、秋田の友人からもまた見に行きたいなあという声もありましたから、今回お雛様を通して活気づいてきたな、という感じがありましたので、これからはいろいろな面で力をだしていただきたいと思います。

◇会長

他にありませんか。

OF 委員

昔からの亀田ですから、名物の食べ物、例えば軍艦焼きとか、そういうものを積極的に提供していった方が良いと思います。

◇会長

他にありませんか。

OG 委員

入込客の推移を見ても、年々尻すぼみになっている。高齢化、少子化ということをもろに被っているな、という一面が挙げられます。このことを抜きにして観光振興をやるとしても……。全国に観光PRしたからといってこの地域に来るようなものではないんですよ。やはり周辺地域の方々から来てみたいなという感じを持ってもらえるようなものにしていかないと、安定した入込客を確保できないと思うんですよ。これは由利本荘市にも言えると思います。岩城地域に関しては幸い三セクの赤字額もあるんだけどそんなに多くないと思います。この赤字もいずれは市の財政に被ってくる訳なんですけども、赤字を出すっていうのは非常に困る訳なんですけど、私は市全体の中でこういうことを捉えないと、岩城地域ばかりの観光だということだけでなく由利本荘市全体の中での捉え方をしないと、小さい塊の中でやっていったんでは、これからの観光は尻すぼみになる。しかも少子高齢化です。子どもさんが少ないからこういうことになったんです。リピーターがいなくてと言うけれども新しい子どもがいないんだから遊ぶ人がおらなくなるんです。私が今一番危惧するのは、天鷲遊園は廃止ではなく閉鎖だと言っていますが、一年間ここを閉鎖した場合、再びやろうとしてもかなりの補修等をしないと、安全性から云っても出来ないと思います。そういう面で、一時閉鎖だと云うけれども、果たして可能なのかどうか？私非常に危惧しておりますが、いずれにしても、岩城地域だけで考えても、観光の入込客を確保するというのはこれからは至難のことだと思います。だから由利本荘市一体となった中でどう位置づけられてやっていくのかということをもっと捉えていかないと、観光振興は図れないと思います。

お客さんがいっぱい来ているとか、パッチワークとか言いますが、じゃあそれが売り上げの面でどう波及してきているのか、そこらへんはどうなのか。観光でお客さんが来ても、残ったのはゴミばかりだということなところもありますから、先ほども商魂逞しくないという話がありましたけれども、やはり多くの方が来るとすれば、お客さんに対して商売をするという意識がもっとあればいいんだけど、なかなか地元にはない。官主導でやったって絶対商売はうまくいかないんだから、そこらへんがこれからの課題だと思います。

◇会長

他にありませんか。

OH 委員

私もこの前ひな街道で廻り、天鷲村に久しぶりに入ったのですが、前に来たときと何も変わらないな、という印象でした。昔はたしか池に鯉が泳いでいたような気がします。前行ったときも生臭い臭いがして掃除の方がいいよと申し上げたのですが、その後きれいになった様子もありません。

それと、一緒に行った方から、折角ツアーを組んで行っても何も買うものが無いという話がありました。売店に行ってもありきたりのもので、各地域をただ見て帰るだけ。ちょっと買ってみたいけれども何も無いな、ということでした。そういう意味でもやはり、商売というものに観光をたしてやれば、もうちょっと潤うんじゃないかな、と思います。

OE 委員

女性はやはり買うことが好きで、私たちも矢島にいったときに産直まで大分距離がありましたけど歩いていきまして、買うことが好きなんだな、とつくづく思いました。岩城の場合は大坂さんの雛餅ですね、あれがすごく人気で、私たちも欲しいと思っていたのですが、矢島の方が一人で何個も買って行って売り切れてしまいみんながっかりしました。私は、ちょっと餅とか煎餅とかそういうものを置いてくだされば、女性はそれでホッとするという感じで、わたしもつくづく廻ってみてそう思いましたので、やはりひな街道と商工観光が手を組んで、イベントと一緒にやっていただければもう少し活気があると思いますのでよろしくお願いします。

●岸野美術館長

今回亀田城の方で、ひな街道のバスツアーに参加してくださった全員にその椿餅を食べていただくということで差し上げました。その場で食べた人はおいしいということで、どこに売っているんだということをよく聞かれました。天鷲村の売店にもいくらかは置いてはいるのですが、やはり大量に買い占められると他の人は買えないという状態です。今回は大坂さんをお願いしたのですが、やはり一人だと作る数が限られるということで、そういうものを一人でなくて、地域で何人かのお宅で作るとか、そういうことも必要だと思います。以前作り方の講習をお願いもしたのですが、作るのはいいいけれども私みたいな年寄りが人前で話すのはできないということで断られておりますけれども、そういうものを、伝統のものを残して、地域の人がもっと沢山作って商売というか、沢山出せるようなことで、ひな街道もタイアップしていければということをつくづく感じております。

◇会長

天鷲村はだいたいわかりました。天鷲遊園についてはいかがでしょうか。

OG 委員

天鷲遊園に係る陳情があったそうですが、どういう内容ですか。

●佐々木理事

婦人会からの陳情であったかと思います。

OC 委員

スーパースライダーを修理してそれを使用するとなると費用が相当かかる訳ですよ。天鷲遊園のメインはスーパースライダーだったんじゃないかなと思います。あれを修理できないとなると・・・花ひろばもあのおりですし。

◇会長

ですから、折角今ある施設が残っているんですが、あれをそのまま閉鎖していいのか、あるいはもう少しいい方法がないのか、そういうことを皆さんで、まあ今日結論を出すということは到底できない訳ですが、そういう問題点とかを出していただきたい。

OD 委員

このごろ遊園に行ったことがないからどういう状態か判らないけれど、何年か前に行ったときは忍者迷路に入っても踏み抜いてしまうような感じで、直さないことには、けが人が出てからでは遅いですから、全部悪くなったんだ、新たに遊園をやるときには全部新しくしないと始められないんだということで考えていかないと、今残っているものだって古いと思いますし。

OG 委員

保守点検もしないで野ざらしにしておくと思物にならない。

OD 委員

今使える状態のものがあるのですか。

●伊藤産業課長

天鷲遊園の中につきましては、以前と同じように迷路関係、コースターとかサイクルという動く遊具があります。いずれも相当老朽化しておりまして、特に木造の迷路関係については雨や雪がもろに当るといいう状況ですので、おっしゃるように相当腐っている部分もあります。場所によってはグラグラするような場所もあるものですから、去年 400 万円ほど修繕費を掛けて治しましたけれども、全体的にはくたびれたなあという感じは否めません。それから金物の遊具については、大阪の遊園地の事故がありまして、大阪の専門の業者さんから緩衝試験という試験をしてもらいました。そうしたところ、これまで一回も回転部分等を交換したことがないものですから、交換しないと今期の営業は難しいとの報告を受けまして、20年度に修繕の予算をお願いしておりましたが、市の予算も大変厳しい状態にありまして、20年度予算についてはあいにく計上されなかったという状況です。

◇会長

そういう状況だということですが、私が考えるには天鷲村、遊園も含めて昨年的高速道路が開通したということで、今までよりはかなりお客さんが来やすくなったと思うのですが、高速道路が出来たおかげで集客率も伸ばせるのではないかなと思う。ただ手をこまねいては、これはどうにもならないでしょうけれども。ですから、折角出来た高速道路を活かすということを考えていかなければ、何のために、ただ交通の便が良くなったからいいということではなくて、交通の便を活かしたそういうことも考えていくべきではないか。まあ、高速が出来たおかげで片方が良くなって片方が悪くなっていくという現象も無きにしも非ずですが、そういう面からももう少し考えてみても良いのではないかなと思いますけれども。

OC 委員

出来るか出来ないかは判らないのですけれども、私は亀田城からあの辺の所がとても好きなんです。最近メタボとかよく言われていますけれどもウォーキングコースみたいなものは出来ないものでしょうか。健康ブームといいますか、歩く人も増えておりますので。

◇会長

他にありませんか。

○ I 委員

施設型観光の難しさというのは、やるときから覚悟してやったものだったと思います。天鷲村、あるいは天鷲遊園、美術館等を含めて、それでは海岸部にアイランドパークを何故作ったか。施設調査、市場調査というものをかなり綿密にやった中で、3年あるいは5年後には経営内容が厳しいのが判っていてやったというのは、やはり海岸線の観光地として日本海側、秋田以南で目玉となるもの、そういうことでやったはずなんです。天鷲村は亀田中学校が統合でなくなった跡地利用ということで、まず天鷲村を作った。そして遊園を作って美術館を作った。お客さんが来ないというのは正に、作った当時の秋田県内の人口の減少そのものが大変な状態にあるということで、子どもの数が当時から比べれば半減したということがある。そういうような人的な背景がある。しかし岩城町時代はそれでも、施設の補修やら更新、そういうものには結構がんばってやってきたんですが、合併以来、亀田地域の目玉となっている各施設や、いろいろな事業をやっている第3セクターに対する本庁の思いというのは、旧岩城町時代の皆さんのような、自分達の施設なんだというような、そういう強いものがあるのか。何とかしなければ、皆でがんばらなければという、そういうものがあるのか。よく考えていただきたい。ダメなら潰せ、行政改革なのだから無くせばいいというように頭からやって、いろいろなものが整理される、廃止されるというようなことでいいのか。あれも止めろ、これも止めろではみんな止めなければならない。岩城町以外で作った第3セクターを始めとする各施設というのはみんな黒字でみんな大丈夫なんですか？。合併した由利本荘市の中で一市七町でやっている各施設というのは、みんな大丈夫なんですか？。財政面を主張して、赤字だからとかなんとかということになれば、みんな潰さなければならないのではないですか、由利本荘市内の各施設は。そうなりませんか佐々木理事さん。単純論で財政ということでお話しされるとすれば、みんなそうなりませんか。

● 佐々木理事

ありがとうございます。I 委員のお話は非常によく判ります。思いといいましょうか、それはどこも同じだと思うんです。それで、財源をどうするかということもありますし、様々なことをいろいろ研究しなければならないのではないかなと思っているところです。おっしゃることはよく判りますし、あの、良い環境にある遊園地はとても良いものだと思います。私も娘を連れてきたこともありますし。おっしゃることよく判りました。伺いました。

○ I 委員

私なりにお話をさせていただけるなら、最低限度、動くものはお金がかかっても動かして、開園できる日は開園できるように、行政として亀田地域の一つの活性化の場所と位置づけてがんばっていただきたい。このままいけば岩城町時代につくったものは全部みんな無くなってしまう。出張所も廃止する、天鷲遊園も閉園だ、アイランドパークも赤字だ、あれも民間委託だ、止めた方がいい、そういうように全てのものが地域の人から見放されるような行政というのはやってもらいたくない。やはり、がんばってがんばって、地域の皆さんと一緒にってできるだけ続けるというような、そういう強い意志を持ってもらわないと地域としてはとても困るなと思っています。その中で、どういう形で地域の皆さんが協力できるのかということは、各種団体、個人等を含めて様々な考えが出てくるのではないかな。第3セクターとか指定管理者、そういう人たちには、経営能力というものをきちっと持っていていただいて経営者としての厳しい立場で経営にあたってもらいたい。ただ昔何々をやっていたから、指定管理者だとか専務だとか、そういうことでは、もう由利本荘市内ばかりでなくて各市町村のいろいろな施設の運営というものは、安心して任せられないような厳しい時代に入っているの

はないかと思う。専門の経営者というのを市が探すべきではないか、私はそう思っています。相当な人材でないと各施設の再生をするというのは難しいんじゃないか。難しいのは天鷲村も天鷲遊園も判ってますよ、施設型ですから。施設はどんどん更新しなければいけない。イベント競争で立ち遅れをとってしまったら、5年後、10年後もお客さんが戻ってこないというのは、先ほど以来各委員さんがお話されておりましたとおり、遅れてしまったら施設型観光は取り返せない、挽回できないというのは判っていてやったんだと思いますから、役所の方でも予算でも何でも最終的に付けてがんばってというような、地元にし少し期待感を持たせるようにがんばってもらいたい。

◇会長

ここで3時5分まで休憩いたします。

～ 休憩 ～

～ 3時5分再開 ～

◇会長

続いて天鷲ワインと亀田城についてお伺いします。

OB 委員

由利本荘市管内の観光地はどこも似たような形だと思いますけれども、かつて亀田なら亀田の良さを取り入れて観光地化してきたわけですが、その環境が今はずいぶんと厳しくなったことは事実と思います。1月か2月に産業課の観光関係と市の商工会の観光関係の人たちが天鷲村で観光案内人を募集していきまして、その研修で私も顔をのぞかせていただきましたが、そのときは観光案内の心づもりというものを教えていただきましたが、考えてみれば亀田にきた観光客にいろいろと廻ってみてもう一度来てみたいなという気持ちを起こさせる何か欠けていたような気がします。今までの施設はどちらかといえば官主導みたいな感じで、施設の事務の人はただ見て行って下さいという感じ、それで終わってしまっているように思います。そういうことから観光案内人の募集をしたことは機を得たことのひとつだと思います。観光客なり、見学に来た人たちに少しでも分かり易いような形で知らせたいというようなことをやってもらいたいと思います。

○J 委員

先ほどからお話を伺っておりますと、企業感覚的な考えでいけば既に倒産と、こういうふうに進み込まれている状況だと、こう思う訳でございます。将来はこのような曲がり角にぶつかるということも想定しながら当初からの計画をもってやったのか、あるいは赤字ができれば行政が負担をすればいいんだと、そういう安易な考えでやったのではなかろうかと、私は推測をしておる訳です。ですから、やはり採算性を考えるならば、利益を追求する経営感覚でやっていかなければならんと、これが基本条件になる訳です。ですから、ここにきては経営能力のある方を責任者として迎えて、この状況を立て直していただくというのが唯一の方法ではなかろうかと考えております。当初からの出発は、第3セクターで行政が事業主体でやるんだ、赤字ができれば行政から負担をするんだと、そういう考えで踏み切ったのではなかろうかと思いますが、この点についてはどうですか。

○I 委員

アイランドパークを作る前に、秋田県の69市町村でほとんどみんな温泉施設を作っておったんですよ。岩城は遅い方なんです。勉強のために議会で県内の主だったところは全部廻りました。それで、高齢者福祉対策と思えば赤字分を一般会計から繰り出して埋めるのは安いもんだという説明なんです。県内の市町村で作った温泉施設で採算のとれてるところは無かったんです。皆無でした。町長や村長にどうやって穴埋めするのか聞きますと、単年度単年度で赤字分を一般会計から出すと。老人対策の事業をやるよりは安いもんだと。ただ一人、仁賀保の巴町長だけは温泉施設はいくらがんばっても税金の垂れ流しになるから仁賀保ではやりませんと。温泉でなく別の福祉方法を考える、仁賀保の人で温泉に入りたい人は象潟でも金浦でもあるから行って下さい、私は温泉作りませんと。そういう厳しい中でもやはり温泉施設というものは求められ出来ていくんです。我が岩城町でも作ったんですよ。さっきも言いましたが、作前の事前調査では3年間は黒字、それを過ぎればとんとん、5年目あたりから赤字になるというのはだいたい判っていたんですよ。それでもみんな賛成なんだよ、一般の住民も。おらほも温泉が欲しいって言うんだよ。あるとき私、年金センターにくれてやったほうが安上がりだと、1億6千万で成功報酬で出たときにくれてやれと言ったけれどもそれも無理で、年金センターもウェルサンピアになって明日入札だけでも。そういう状況ですけど。責任を持った人が経営能力を持って、やはり赤字、赤字でなく黒字にする努力をする、そういう能力を持った人を選ばなければならない、施設の長に。年金もらうまでの間の市役所のOB職員に3年間5年間経営させても、そんなことで赤字なんか減るもんじゃありませんよ。こんなこと言えば怒られるけれども。一時逃れの人事やったって黒字にはならないですよ。

○J 委員

民間企業の場合は、投資をした金を回収してしかも利益を上げるという、そういう基本的な条件がある。ところがこの場合は、投資したのは関係ない。それでいて赤字だと。大変なことで、今後の問題として慎重に考えなければならない問題だと思います。

◇会長

この際、道の駅の方も一緒にやりたいと思いますけれども、同じような問題だと思いますが、日沿道が開通しまして、道の駅を取り巻く環境も変わっていると思いますので、その辺のところも含めて、皆さんから問題点をだしていただきたい。産業課長、道の駅と高速についても説明をお願いします。

～ 伊藤産業課長説明 ～

○G 委員

高速が出来て、入込客が減る、今、産業課長の説明では半減だということだったけれども、私はそれ以上に減ると思う。私は6割くらいは確実に減ると思う。道の駅に来る人はほとんどレジャーのついで、それは期待できない。高速の場合は道の駅は見えないから。目的をもって走っているし。そうした場合、激減する中において道の駅でも天鷹郷でも、これが目的だ、これが目玉だということをやらなければいけない。高速ができれば通過型になってその地域が廃れるんです。そういう中であって第3セクターがどう生きていくか、皆で考えないといけない。

◇会長

そろそろ意見も出尽くしたと思いますので、今日の皆さんから出されました意見については、事務局でまとめていただきまして、次回、来年度になると思いますけども、皆さんに事前にお配りしまして、次回の協議会でまた詰めていきたいと思っています。

皆さんからそれ以外でありますか。事務局からありますか。

～ 事務局、さくらマップについて、協議会のホームページ掲載について説明 ～

◇会長

それでは、今年度第5回目の協議会、以上をもちまして終了させていただきます。皆さんから1年間ご協力いただきましたこと感謝いたします。どうもありがとうございました。

閉会 午後4時00分